なすしおばら
ボランティアセンター情報誌

令和８年１１月２０日号

リスナー＆音訳ボランティア交流会開催
団体創立５０年を祝う













９月１５日（火）、いきいきふれあいセンターにて、那須塩原市３地区の音訳ボランティア（のびる会、くさのみ、かっこうの会）と視覚障害者のリスナーによる交流会が開催されました。

参加者全員が自己紹介をした後、ゲストの「西那須野ハーモニカ・フレンズ」による演奏や、各団体が群読・朗読・朗読劇と工夫を凝らし参加者の皆さんへ声を届けました。

昼食を食べながら歓談し、リスナーによるカラオケやインタビュー、手遊び歌など盛りだくさんの内容で会場は笑顔に包まれました。

かっこうの会代表の佐藤さんは、「皆さんの理解と協力があり、ここまで活動を続けてこられました」と参加者へ感謝の言葉を伝えました。参加したリスナーからは、「普段話せない人と話せて楽しかった」との声が聞かれ、たくさんの思いが詰まった素敵な交流会となりました。

笑顔あふれる敬老会
バルーンアートで華やかにお祝い



９月１６日（水）、高齢者施設「マロニエ苑」の敬老会にて「チーム☆ショコラ」によるバルーンアートショーが開催されました。前日は飾り付けの準備を行ない、当日の会場は色鮮やかな風船で華やかに彩られました。

敬老会に集まった約１００名利用者の皆さんの前に「チーム☆ショコラ」が登場し、軽快な音楽に合わせて、目の前で猿やタコ、人気キャラクター、そして大作の「火の鳥」などを次々と作り出すと、会場からは歓声と驚きの声が上がりました。ショーの途中には、利用者や職員の皆さんがバルーンアートに挑戦する体験時間も設けられ、会場は一体となって大いに盛り上がりました。

フィナーレでは、大きな輪の形をしたバルーンがふわりと浮かび上がる演出がありました。会場からは温かい拍手が沸き起こり、笑顔があふれる素晴らしい祝賀のひとときとなりました。







チーム☆ショコラの皆さん

地域の一員として考える機会に!
三島中3年生がぽっぽ通りで美化活動



９月１８日（金）、那須塩原市立三島中学校の３年生約１８０名が、市内の「ぽっぽ通り」で美化活動を行いました。当日は、同通りを花の道にするため日々活動している「ぽっぽ通り花の会」の協力のもと、生徒たちはクラスごとに６つのエリアに分かれ、落ち葉拾いや草刈り、苗植えなどに汗を流しました。

開会にあたり、同会代表の金子哲也さんは「活動を継続し、若い人にバトンを渡したい」と期待を込めて挨拶しました。活動中には、生徒たちがメンバーから活動への思いを聴くなど、世代を超えた温かい交流も見られました。

今回の活動を通して、生徒たちは地域の方々の思いに触れ、自分たちが地域の一員としてできることを考えるきっかけとなりました。最後に、代表生徒が「これからもボランティア活動に積極的に取り組んでいきたい」と力強く決意を語りました。







東原秋祭り
～施設イベントでふれあいを楽しむ～







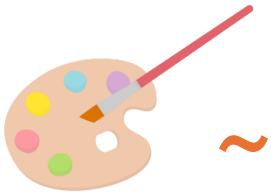


１０月４日（日）、サービス付き高齢者向け住宅あじさいにて「東原秋祭り in サ高住あじさい」が開催されました。ボランティアセンターからは３名の個人ボランティアが参加し、バザーの手伝いや駐車場の誘導を担当しました。

バザーの手伝いでは、ブースを訪れた方に商品の説明や洋服の試着を勧めるなど、積極的に話しかけており、会話が弾む様子が見られました。駐車場係は、車での来場者を安全に誘導し、笑顔で迎えていました。

また、登録団体でもある「なすの三線の会」もステージで曲を披露し、会場を盛り上げていました。

施設の入居者や職員、地域の方々とのふれあいがあり、温かい雰囲気に包まれた秋祭りとなりました。



紙芝居かやの実会
～新作紙芝居作りを行う～



小さな子どもから年配の方まで楽しい時間が過ごせるよう紙芝居の上演活動を行う「紙芝居かやの実会」が、１１月２日（月）ボランティアセンターで新作の大型紙芝居作りを行いました。

工夫を凝らし丁寧に描かれたオリジナルの下絵に、会の皆さんで相談しながら連携し、手際よく色を塗る作業を行いました。

紙芝居かやの実会は、毎週日曜日午後２時から西那須野図書館で紙芝居を上演しています。会員募集中ですので、興味のある方はボランティアセンターまでお問い合わせください。









第2回ボランティア交流会開催
～ディスコンで繋がる交流の輪～









　レクリエーションを通して参加者同士の交流を深め、情報交換の機会を作ることを目的として、１０月２２日（木）いきいきふれあいセンターにて令和８年度第２回ボランティア交流会を開催しました。当日は２３名が参加し、「那須塩原市レクリエーション協会」会長の菊地彰氏を講師に招きディスコン体験を行いました。

　前半はディスコンのルール説明とデモンストレーション、後半はチームに分かれて試合形式で交流を行いました。参加者からは「初めてだからできるか不安」といった声も聞かれていましたが、チームで協力しながらプレーを楽しまれ、自然と打ち解ける様子がありました。また、試合の空き時間には隣の席の方やチーム同士で情報を交換して話を弾ませたり、他のチームを応援して盛り上げたりと、賑やかな交流会となりました。

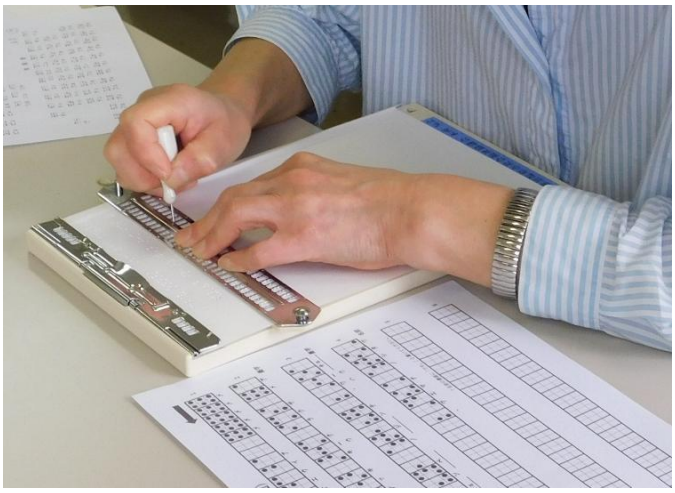
　今後の交流会でやってみたいこと（講座、ものづくり、演奏会など）がありましたら、ぜひボランティアセンターまでお声がけください。







令和8年度「点字入門講座」を開催しました!



９月４日から１０月３０日にかけて、那須塩原市社会福祉協議会主催の「点字入門講座」を全５回で開催しました。

この講座は、視覚障害者への理解を深めるとともに、点訳ボランティアの新たな人材発掘を目的に企画したもので、点字や福祉、ボランティアに関心のある５名の方が参加しました。

市内で活動する点訳サークル「でこぼこ」の皆さんを講師に迎え、受講者は点字の基礎知識を学び、実践的な技術も体験しました。

【講座のカリキュラムとステップ】点字の基礎を5回の講座で、段階的に学習しました!

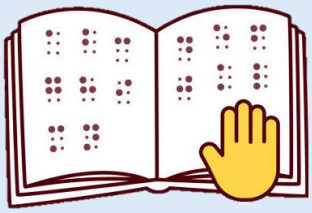
第１回：点字の歴史と「６つの点」の仕組み／点字器を使った書き方の実践

第２回：数字・アルファベット・英語表記のルール

第３回：記号・符号表記のルール／発音どおりに書くきまり／用語解説

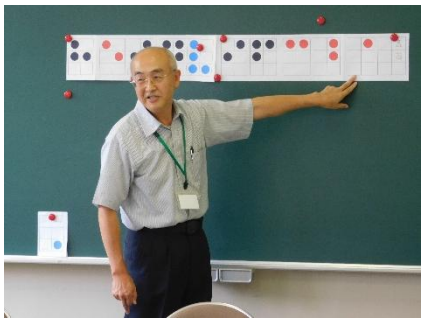
第４回：読み誤りやすい漢字／分かち書きの基本と注意ポイント

第５回：レイアウト（案内文の作成）／総まとめ／パソコン点字の体験





▲第１回（９／４）



▲第２回（９／１８）



▲第３回（１０／２）



▲第４回（１０／１６）



▲第５回（１０／３０）



▲講師（前列）と受講生（後列）

初回は少し緊張した面持ちだった受講生の皆さんですが、回を重ねるごとに打ち解け、教室には楽しい雰囲気が広がっていきました。初めて触れる点字器で点字を書いたり、複雑なルールを真摯に学ぶ姿がとても印象的でした。講座中はもちろん、休憩時間にも講師へ熱心に質問するなど、全体をとおして学ぶ意欲にあふれた時間となりました。

受講生からは「点字の基礎が学べてためになった」「視覚障害のある方への理解が深まった」といった声が寄せられ、実りの多い講座となりました。

ボランティアグループ大募集!!

～ あなたの特技で地域に元気を届けませんか？ ～

「喜ぶ笑顔が見たい！」「日頃の練習の成果をどこかで発表したい！」
そんな想いをお持ちの皆さま、ぜひその素晴らしい特技で、地域に元気を届けてみませんか？
皆さまの温かい一歩を、心よりお待ちしております。

【募集している活動の一例】

- 音　楽：楽器演奏、歌の披露、合唱など
- 芸　能：踊り、ダンス、マジック、紙芝居、落語、腹話術など
- その他：ゲーム、レクリエーション、絵手紙など、何でも歓迎！

※主な活動先：高齢者施設、障害者施設、生きがいサロン、子ども食堂など
※対象：笑顔を届けてくださるボランティアグループ



【活動スタートまでの３ステップ】

１　相談：「こんな活動でも大丈夫？」など、まずはお気軽にお問い合わせください。
２　登録：ボランティアセンターへ登録手続きを行います。
３　紹介：ボランティアセンターに依頼があり次第、活動先をご紹介します。

【問い合わせ先】

那須塩原市社会福祉協議会　ボランティアセンター（那須塩原市南郷屋５-163 健康長寿センター内）
TEL：0287-47-6700　窓口受付時間：８時３０分～１７時１５分（平日のみ）

みんなが主役!おらが地域(まち)の支え合いじまん大会 開催のお知らせ



「地域住民同士の支え合い活動」に取り組んでいる団体による発表会を開催します。

私たちの身近な地域には、「ちょっとした困りごとを助ける活動」や、「地域の皆さんが集まって交流する活動」など、住民同士で支え合う取り組みがたくさんあります。

興味のある方はもちろん、「どんな活動をしているのか、ちょっと聞いてみたい」という方も大歓迎ですので、お気軽に三島ホールへお越しください。

日　時：12月22日（火）１３：００～１５：５０
（開場：１２：３０）
場　所：三島ホール（那須塩原市東三島６－３３７）
申込み：１２月１１日（金）までに申込みフォームからお申込みください。

【申込みフォーム】

※申込みフォームからのお申込みが難しい方は、
那須塩原市社会福祉協議会地域福祉課地域支援係
へ直接お電話ください。
TEL：０２８７－３７－５１２２

つながるひろがるアート展開催中

アートで編み合わせる、このまちのこれから

障がいのあるアーティアストたちが描く、個性的で心温まるアート作品を全１２か所の会場で展示しています。ぜひご覧ください！

【展示期間】

１１月１日（日）～１１月３０日（月）

※会場ごとに展示期間や時間、休館などが異なります。詳しくはポスターをご覧ください。

【主催】つながるひろがるアート展

TEL：０２８７－６４－２２８８





第6回県北チャリティークリスマスウォーク Night

「子どもの貧困をなくそう！」をテーマに参加者がサンタの姿で歩き、寄付で子どもたちを応援するチャリティーイベントです。

集まった寄付は、栃木県内で子どもたちを支援する１４団体の活動に活用されます。

日　　時：令和８年 12 月 19 日（土）１１：００～１８：００

集合場所：大田原市旧勤労青少年ホーム（大田原市美原１丁目１－４）

コ ー ス：旧勤労青少年ホーム⇒ヨークベニマル大田原店⇒
中央公園⇒金燈籠⇒旧勤労青少年ホーム（約４キロ）

持 ち 物：クリスマスらしい服装、懐中電灯

参加寄付：大人１，０００円以上～
＋食品お菓子の寄付 or マルシェで買い物
中学生以下は寄付なしでも参加可能
※事前申込みが必要です。

申込期限：12 月 16 日（水）

問合せ・申込み：TEL ０２８７－４８－６０００
メール tochigivnet.kenhoku@gmail.com
とちぎボランティアネットワーク県北事務所（担当：安井）

【申込みフォーム】



主　催：県北クリスマスウォーク実行委員会／とちぎコミュニティ基金

※詳しくはホームページをご覧ください。

https://kenpoku-christmas-walk-night-2026.singingapron2.chatgpt.site/

「ボランティアを応援したい！」～オンラインサロンで思いを発表～



１０月２９日（木）、全国社会福祉協議会主催のオンラインサロン「市区町村社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターの機能強化を考えるオンラインサロン【第７回】」が開催されました。

今回は「関係者とのパイプを磨こう」をテーマに、全国の社協職員が意見交換を行いました。

本会からは、年６回発行している情報誌の取材を通じて、ボランティアと受け入れ先とのつながりを深める取り組みや、取材に込めている思いを発表しました。

職員で話し合う中で改めて確認したのは、「ボランティアを応援したい！」という思い。これからも情報誌をはじめ、さまざまな事業を通して、ボランティアの皆さんを応援していきます。



ボランティア活動実績

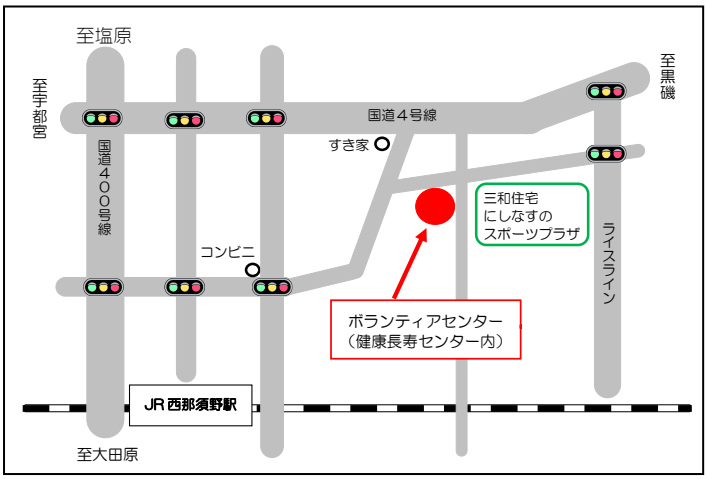
９月	イベント他	１６件	９０人	１０月	イベント他	１９件	７０人
	傾聴	16 件	２５人		傾聴	１８件	２８人
	福祉体験	３件	８人		福祉体験	９件	３０人
	合計	３５件	１２３人		合計	４６件	１２８人

ボランティアセンター登録数（１０月３１日現在）

団体	個人
１１０団体（非公開含む）	９１人



【ボランティアセンター】



地域共生社会振興基金寄付者一覧

（令和８年１０月３１日現在）　（敬称略）

- 黒磯ロータリークラブ
- NPO 法人すずらん
- 那須塩原市一般廃棄物処理協同組合
- 株式会社 Shikano

地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

発行：社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
ボランティアセンター
〒329-2705　那須塩原市南郷屋 5-163
（健康長寿センター内）
TEL 0287-47-6700／FAX 0287-47-6690
E メールアドレス v.center@ns-shakyou.jp

★メール、FAX、電話でみなさまの感想や情報をお寄せください。



▲ボランティアセンター公式 LINE

▲那須塩原市社協フェイスブック

▲那須塩原市社協インスタグラム